

## 2023\_1109「巨匠コバケン（写真）」日々の理科 3381号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

先日、サントリーホールでコバケン指揮、日本フィル演奏、東京音楽大学合唱で、「カルミナ・ブラーナ」（カール・オルフ）の演奏会を聴きに行きました。もちろん演奏も素晴らしかったのですが、私が感動したのはやはり「コバケン」の様子です。

「コバケン」というのは、小林研一郎氏の愛称です。指揮者に愛称があるのは珍しいケースだと思います。「炎のコバケン」「炎のマエストロ」などの異名もあります。一度コバケンの指揮を、最前列中央の席で見たことがあるのですが、その異名の意味がよくわかりました。指揮動作がものすごく大きく、しかも「ff」や「fff」或いはクレッシェンドの時に明らかに「唸り声」が聞こえるのです。今回は二階席だったので、さすがに聞こえませんでした。動作の大きい指揮ぶりは健在でした。終演後の礼儀正しさ、楽団員一人ひとりへのねぎらい方にも感銘しました。

コバケンは昭和15年生まれで、現在83歳。実に私の母と同一年です。まさに日本の指揮者を代表する「巨匠」「マエストロ」の名にふさわしいすばらしい人物です。その現役時代の「カルミナ・ブラーナ」を聴けたことは幸せですし、これからも活躍してほしいと心から思いました。

※終演後は、客席からの写真撮影が許可されています。

(2023年11月上旬/サントリーホール)

